



**第26回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」
in 沖縄県石垣市**



Agenda

#1

クラダシチャレンジとは

#2

15日間のスケジュール

#3

活動報告

#4

参加者の声

#5

事後報告会

#1. クラダシチャレンジとは

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

フードロス問題や地方創生に興味関心のある学生が日本全国の地域・農家へインターンとして訪れ、作物の収穫支援や現地での交流を通して一次産業や地域経済の活性化について考える取り組みです。参加学生の旅費・交通費や現地での滞在費、食費等は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために設立した「クラダシ基金」から支援しています。

クラダシチャレンジ実施の目的

活動中: 収穫したものをKuradashiのサイト上で販売することで、新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生が現地を訪れることで町に活気をもたらし、地域の魅力をSNS等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。

活動後: 学生が自治体や農家の方1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは クラダシ基金の概要

地域経済の活性化と社会発展に寄与するために
設立された支援金制度「クラダシ基金」



地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・
食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられます。

クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために
創設した基金で、ソーシャルグッドマーケット
「Kuradashi」上における支援先の1つです。

地域創生事業やフードバンク支援事業、教
育事業、食のサステナビリティ研究会の社
会貢献活動に活用しています。

▼参考URL

クラダシ基金について

: <https://www.kuradashi.jp/fund>

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは 「クラダシチャレンジ」の目的

①石垣産パイナップルの魅力発信

石垣市は、亜熱帯の気候、豊富な水資源、豊かな土壌に恵まれた地域です。このような地形を生かし、石垣市ではパイナップルの生産が盛んに行われており、国内産パイナップルのうち99.9%は石垣市で生産されています。しかし国内では国産のパイナップルではなく、安価な外国産のパイナップルが多く出回っており、パイナップルの自給率は5%程度しかありません。そこで、クラダシチャレンジを通して学生が作業を手伝い、商品をKuradashiで販売することで農家さんの新たな収入を生み出すほか、石垣産パイナップルの魅力を全国に広め、石垣市の農業の発展に貢献します。

②地方の関係人口の増加に貢献、若者を呼び地域振興に

都心の学生と地方の農家さんが共に汗を流し、熱く語り合うことができるのも魅力の一つ。活動を通して、農業そのものや、その地域に価値を見出す学生がたくさんいます。そして、SNSを通じてその魅力を共有することで、観光客の増加や、地方の関係人口増加を図ることができます。

③地域の特産品の購買促進に

石垣市には、クラチャレで収穫したパイナップルの他にも、洞黒砂糖・島バナナなどの特産品に加え、鍾乳洞など様々な見所があります。そのような素晴らしい魅力を、活動を通してPRすることで、**購買促進・観光客の増加**を図ることができます。



第26回 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 沖縄県石垣市

- 活動内容:
 - ①パインの収穫・選果・梱包
 - ②石垣市役所の方との意見交換
 - ③現地観光
 - ④SNS等を利用した地方の魅力発信
- 開催期間:2023年6月13日～6月27日
- 参加人数:3人
- 実施企業:株式会社クラダシ（クラダシ基金にて運営）

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは 沖縄県石垣市クラダシチャレンジの概要

【石垣市とは】



石垣市は日本の最南端の都市と言われており、石垣島の中部は山々が連なる山岳地帯、南部は平野が広がっています。また湾岸、半島、岬、海浜など多様で豊かな自然環境を有し、亜熱帯気候などの特性を活かした農業、漁業が盛んです。



2022年1月に石垣市、ロート製薬、株式会社クラダシの3者が「石垣市におけるSDGsの推進に係る食品ロス削減および特産品のPRに向けた連携協定」を締結しました。

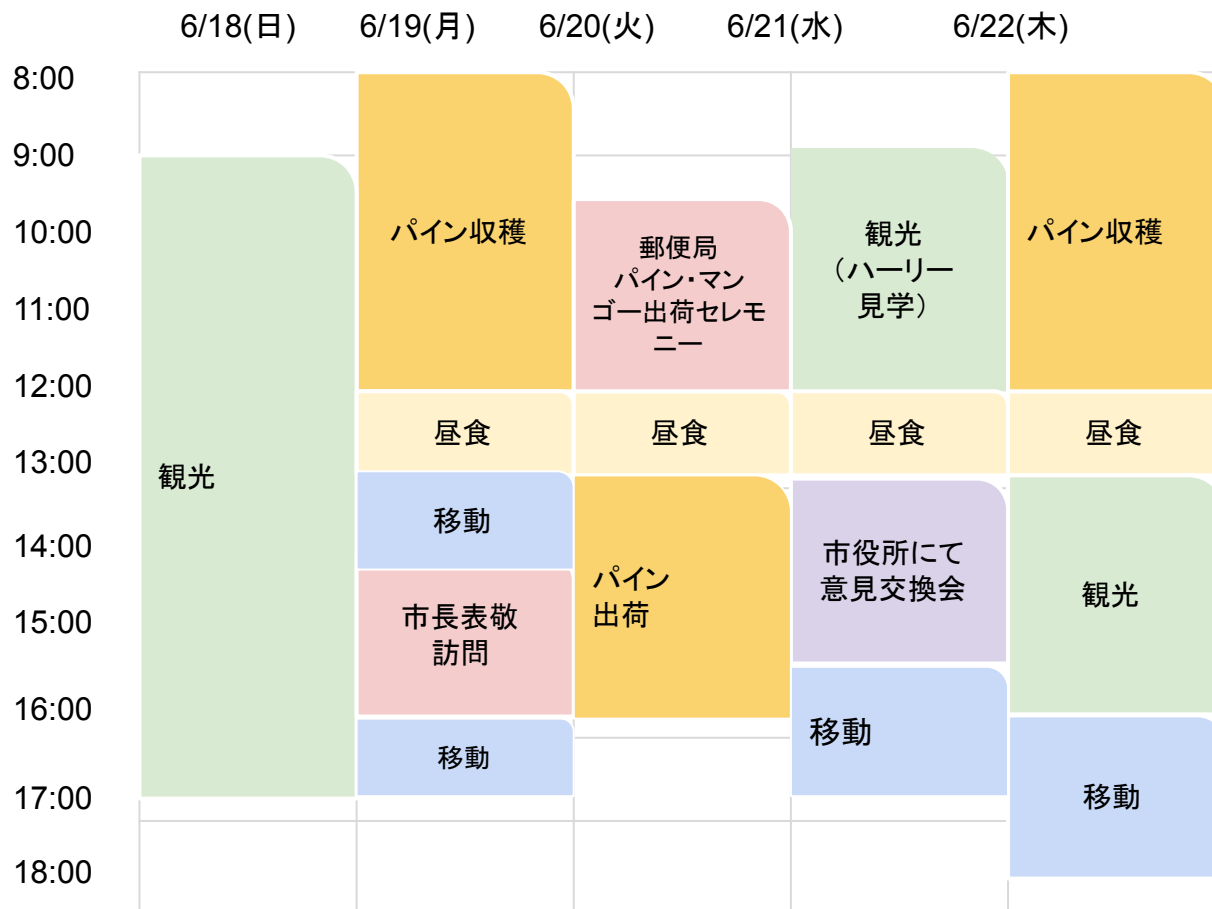
一次産業活性化に不可欠である、食品ロス削減に向けた取り組みを強化するとともに、地元の特産品や町の魅力の発信を通じて関係人口を拡大することを目指します。

▼連携協定について詳しくはこちら

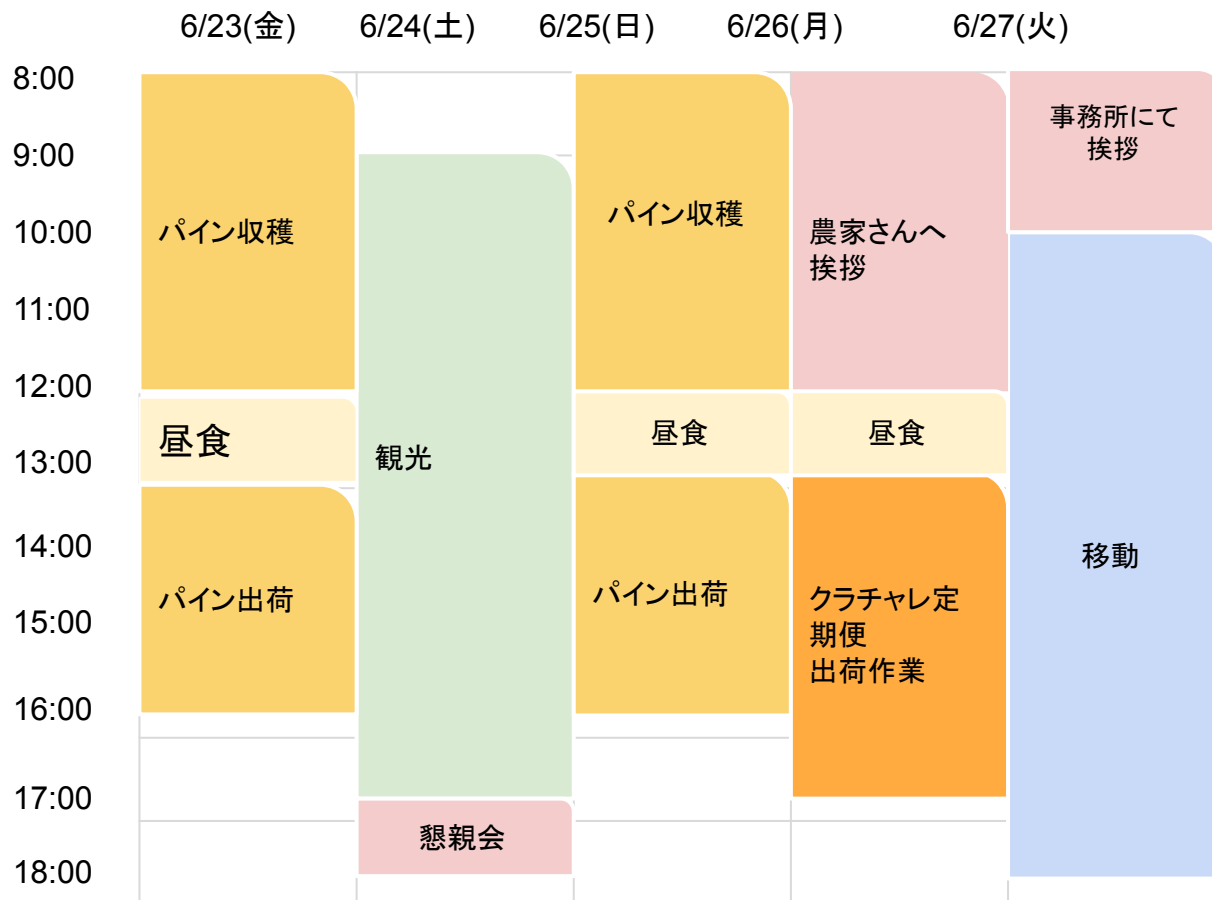
<https://corp.kuradashi.jp/news/22-01-25-1/>

#2. 15日間のスケジュール

#2. 15日間のスケジュール(DAY6~DAY10)



#2. 15日間のスケジュール(DAY11～DAY15)



#3. 活動報告

#3.活動報告:作業(やえやまファーム)

やえやまファームさんで2週間お世話になりました。
やえやまファームさんは農薬や化学肥料を用いない形で(代わりにもろみを使って)有機パインを作っており、JAS認定されています。
農薬を使用していないので、パイン特有のピリピリ感がなく、とても食べやすいパインでした。やえやまファームの山中さんはパインに対して大変研究熱心で、統計を様々取っておられ、特にパインはフィボナッチ数列が現れていると教えてくださったりしたことが印象に残っています。



#3.活動報告:作業(当銘さん)

家族で経営をされている当銘さん農家にお世話になりました。
収穫方法やパイナップル農業についての知識を一つ一つ優しく丁寧に
教えてくださいました。
収穫作業は、当銘さん、おじいやおばあと一緒に行了しました。
パインを刈った後の籠背負い運ぶ作業がとても大変でした。



#3.活動報告:作業(荒木さん)

石垣市に移住された荒木さんのもとでお世話になりました。
荒木さんは農業だけでなくラジオや音楽活動など、マルチに活躍されている方です。
収穫だけでなく、草取りや散水などの農業の基本となる作業も体験させていただきました。



#3.活動報告:観光



クマノミやウミガメとふれあったシュノーケリング



大迫力のハーリー祭を見学



白保海岸サンライズをみながらビーチクリーン



ソーキ丼を堪能

#3.活動報告:ワークショップ

9日目に石垣市役所にてワークショップが行われました。

石垣市役所の職員の方が以下2つの議題を用意してくださいました。

- ・新たに農業に携わる担い手の育成支援
- ・石垣産パイナップルを地域の魅力と共に広めるための施策

学生から積極的に質問させていただいたり、お話をお伺いしたりする中でさまざまな意見を提案させていただきました。



#4. 参加者の声

毎日が発見と学びの連続

慣れない農作業、自然と密接な環境、大迫力の祭り、そして様々なバックグラウンドを持つ方々との交流、挙げ始めたらキリがないくらい毎日が新鮮な出来事にあふれた2週間でした。

また自分の原体験や問題意識を異なる立場・世代の方々に共有し、話し合うことができたのも良い経験になりました。特に、話をする中ででてきた「自分が幸せでなければ、他人も幸せにできない。」という

考え方は、目から鱗でした。

2週間は決して長い期間ではありませんが、クラチャレのために尽力してくださった皆様のおかげで、石垣島に対するイメージが刷新され、私なりの特別な思い出も生まれました。クラチャレへの参加を経て生まれた気持ちやつながりを大切に、今後も継続して学び、行動していきます。素敵な経験をありがとうございました！

【早稲田大学4年 青木梨奈】



石垣島の人と自然と文化に触れた日々

石垣島のさまざまな魅力に触れ、自分自身の視野を大きく広げることができた日々でした。私がお世話になった農家さんでは収穫から出荷までを全て手作業で行いました。蒸し暑い天候のなか重い籠を背負ったり、低姿勢を保ちながら慣れない鎌を使ったりと大変な作業もありましたが、機械ではなく人にしか出来ない繊細な作業も多くあり、とても印象的でした。そのなかでも休憩時間に昼寝をしたり農家さんとの会話を楽しんだりと過酷な作業に対してゆったりとしたひと時、「やえまタイム(八重山諸島特有の時間感覚のこと)」を感じることができました。この期間を通して石垣島のいろいろな方々と交流することができ、大自然の美しさにもたくさん触れることができました。自然を愛し、共生する石垣の方々を知り、自分自身の価値観の変化を感じることができた週間でした。大好きな石垣島に必ずまた帰りたいです！

【都留文科大学4年 遠藤愛】



一期一会の2週間

石垣島で過ごした2週間は、人生で何回あるのだろうかと思うくらいめったにない貴重な時間でした。ロート製薬の皆さんや、やえやまファームの方が本当に親切で、いくら感謝してもしきれないほど感謝しております。

石垣島の観光も楽しかったですが、私はパイナップルの収穫が一番楽しかったです。早起きや暑さ、強い日差し、パイナップルの棘は想像以上に大変でしたが、それ以上にやえやまファームでの作業や現地の方と様々な話ができ、それはとても実りあるものでした。

また毎日一緒にいて楽しいと思える人たちに出会うことができ、一期一会の2週間だったと思っております。

クラチャレに参加して、石垣島に行ってよかったです！

【奈良女子大学大学院2年 新居里紗】



#5. 事後報告会

第26回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 沖縄県石垣市の参加者による事後報告会を行いました。

■日時：2023年7月24日 16:30-17:30

■場所：クラダシオフィス・オンライン配信

■参加者：「クラダシチャレンジ in 沖縄県石垣市」参加学生
石垣市の方々
ロート製薬の方々
クラダシ社員

■目的：参加した学生が、現地の方との交流・収穫支援の活動を通して見出した課題への解決策を提案する



～解決策立案～

- ①石垣のパイナップルのファンを増やすためのプラットフォーム創出
- ②安定的に農業の担い手を生むためのマッチング制度確立

石垣市の課題発見・解決策立案

なぜその課題を選んだのか？

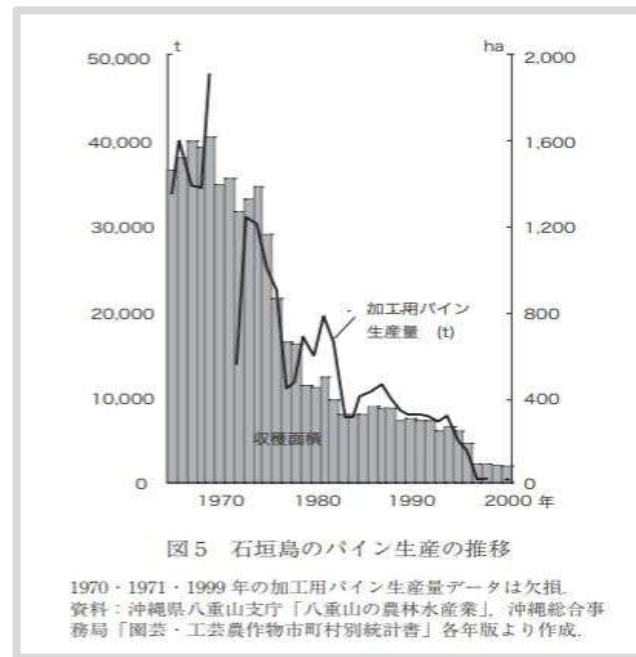
- ・石垣市におけるパイナップル産業の観光における重要性が極めて高い
- ・地域活性化につながる

石垣市の現状

- ・加工用パインの生産量減少と共にパイン生産量も大きく減少
- ・国内におけるパイン自給率低い(2%)
 - ↳生食用パインの需要が少ない

石垣市の地域課題

後継者不足によるパイナップル産業の衰退が予測される



石垣市の課題発見・解決策立案

現地で感じた印象・現地の声

- ・後継者不足
- ・後継者の育成ができない可能性あり
- ・新規就農者は土地の入手が困難
- ・補助金がなくなるタイミングでのリタイア
- ・石垣島パイナップル魅力、美味しさ
- ・固定ファンの獲得

目指すべき方向性

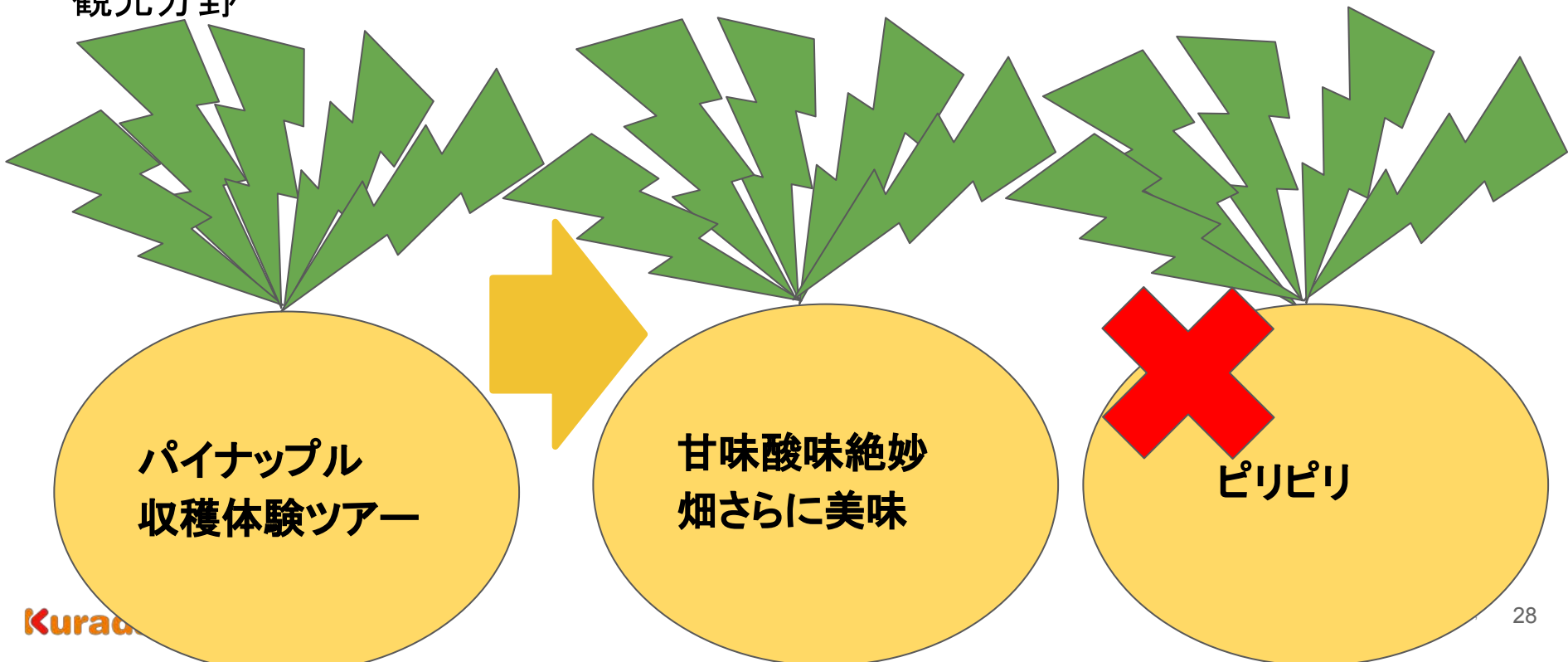
- ①市場拡大を目指したPR活動の拡充
- ②新規就農のリスク低減
 - ↳離職率
 - ↳就農時点でのハードルの軽減



解決策立案

- ①石垣のパイナップルのファンを増やすためのプラットフォーム創出
- ②安定的に農業の担い手を生むためのマッチング制度確立

①石垣のパイナップルのファンを増やすためのプラットフォーム創出 観光分野



◎クラダシ

人	場所	商材
<ul style="list-style-type: none">・地方創生や社会課題への意欲が高いKuradashi会員・アンバサダー	<ul style="list-style-type: none">・kuradashi・たまプラ・木更津コンセプトストア	<ul style="list-style-type: none">・クラチャレ定期便/ ふるさとだより

アンバサダー×クラチャレ定期便/ふるさとだより
たまプラ・木更津コンセプトストア ×クラチャレ

どんな効果が期待できる？

◎最終目標:

- ・外国産パイナップルとの差別化及びパイナップルのイメージをアップデート！
- ・「石垣島パイナップル」を消費者にとって気軽に手に取りやすい存在にすること

◎クラダシ

お客さん

↳クラダシで買い物をする楽しさUP

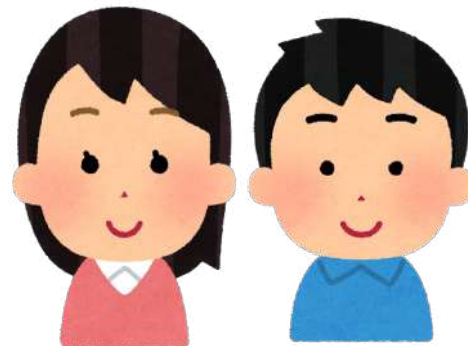
農家



- ・大規模または小規模
- ・家族経営
- ・法人,企業

行政が農家と就農希望者をマッチング
2～3年目安で受け入れ※

就農希望者



- ・農業高校,大学,専門学校
- ・新規参入者
- ・移住者
- ・農家の後継者



ロールモデル①

やえやまファーム(企業)

└特徴:

有機栽培(JAS認定)

六次産業(循環型農業)

○受け入れ体制

・社会人としての基本的なマナー

やふるまいができる人

・有機パインについての特別な基礎知識は不要

ロールモデル②

小中規模農家

└特徴:家族経営

○受け入れ体制

・初心者△

・ある程度の基礎知識、技術がある人

ロールモデル③

小中規模農家

└特徴:1人で

販路は自分で開拓

受け入れ体制:

- ・初心者△
- ・ある程度の基礎知識
- ・技術
- ・短期

ロールモデル④

大規模農家(個人販売)

└特徴:最先端

ブランディング・販売まで行う

ロールモデル⑤

大規模農家(JAに出荷)

└少人数で大量生産

○受入れ程度によって補助金の給付が受けられると尚良い

どんな効果が期待できる？

就農希望者：

- ・個人の特色に合わせて農家を選ぶことができる。
- ・条件に合った農家をスピーディーに見つけることができる。
- ・実務経験を通して知見を獲得しつつ、理想の農業のかたちを追い求めることができる。
- ・自立するまでに手厚い教育を受けることができる。

農家：

- ・ノウハウ、技術の継承。
- ・後継者の育成および獲得。
- ・求める人材を受け入れることができる。
- ・一時的な人手不足解消。

①石垣のパイナップルのファンを増やすためのプラットフォーム創出

②安定的に農業の担い手を生むためのマッチング制度確立



パイナップル産業の持続及び発展

社名

株式会社クラダシ

設立

2014年7月

所在地

東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

代表者

代表取締役社長 関藤 竜也

事業内容

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営

URL

<https://www.kuradashi.jp/> (ショッピングサイト)

<https://corp.kuradashi.jp/> (会社HP)

株式会社クラダシは、沖縄県石垣市以外の自治体でも支援を引き続き行なっております。
ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。